

構造改革特別区域計画

「まほろば創生・なら教育特区」の認定について

21世紀の本県の在り方を定めた「奈良県新総合計画」の「世界に光る奈良県」づくりにおける重要施策の柱に、次のことが挙げられています。

「世界に光る奈良県」づくりの重要施策の柱の一つとして、「日本人の心のふるさと」ともいべき豊かな歴史文化遺産を後世に守り伝えるだけでなく、多様な交流活動や文化行事を通して国内外に発信していくこと。

地域を支える産業での新たな取組を育成するとともに、科学技術における新たな知的価値の創造に着目し、ITや環境など、時代のニーズに対応する研究開発を支援し、ベンチャービジネスの育成など本県産業の発展の芽を伸ばすこと。

これらの実現のため、県が7月に構造改革特別地域の申請を行い、この度、国から認定を受けました。

特区の概要

本県の特徴を活かして日本史や理数科の学習を重点化するなど、学習指導要領によらない教育課程の弾力化を行い、学校と地域との双方向の「学び」を構築し、もって、特色ある学校づくりと地域の活性化を図る。

具体計画

西の京高等学校

(地域創生コース)

地理歴史科において、「日本史」を必修とし、「世界史」と「地理」から1科目を選択させる
「総合的な学習の時間」に替え、普通科目である日本史に関する「課題研究」を履修させる

斑鳩高等学校

(歴史文化コース)

地理歴史科において、「日本史」を必修とする
「総合的な学習の時間」に替え、普通科目である日本史に関する「課題研究」を履修させる
日本史に関する学校設定科目の合計単位数を20を超えて設定する

青翔高等学校

(理数科)

地理歴史科において、「地理」を必修とし、「世界史」と「日本史」から1科目を選択させる
「総合的な学習の時間」に替え、理数科に関する学校設定科目「探究科学」を履修させる

大学、研究機関・文化施設、寺社等

大学、研究機関等

高大連携等による質の高い教育の支援、高校教育の活性化